

◆ 下呂市 コミュニティカフェ・民泊 つむぎ

佐藤 文さん



山形県鶴岡市出身。ロンドン芸術大学を卒業後、大学院にてグローバルガバナンスを学びました。その後は、東京のNPO(シンクタンク)にて、国際関係や外交・安全保障政策の研究事業に約7年間従事。自分の将来を考える中で「このまま東京で働くことが自分にとって本当に豊かな人生に繋がっていくのだろうか」と疑問を持つようになり、「もっと自然や地域コミュニティや土着の文化と繋がった生き方をしたい!」という思いが沸き上がり、地方移住を決意しました。2021年4月、空き家バンクの物件情報をたよりに移住先を探す中で、下呂市金山町の古民家に出会い一目惚れ。2021年6月に購入し、改修工事を経て11月に移住し、小さな民泊・コミュニティカフェを開業しました。



◆ 起業のきっかけは？

東京で仕事をしているときに、勤めていたNPOが小さい組織だったので、組織や事業の将来や方向性を代表の方や同僚と一緒に話し合ったり、一人の思いが周囲の賛同を得て事業になり、社会に影響を与えることを一従業員として経験する中で、「将来、何か自分の力でやってみたい」という思いを持つようになりました。地方移住を考えた時に、就職よりも起業に惹かれたのは、この経験があったからだと思います。地方での生き方に魅力を感じた根底には、「現在の社会や経済のあり方は人間が幸せになるために本当に寄与する仕組みなんだろうか」という疑問がありました。地方には、今私たちの社会が抱える課題に対するいろんな解決策が眠っているように感じています。そういうものを掘り起こしながら、数字だけでは測れない価値を生み出すことが何かできるんじゃないか、そう思って起業に挑戦してみることにしました。



◆ どのような事業をされていますか？

古民家を改修した民泊とカフェを営んでいます。地方のライフスタイルに魅力を感じる地域外の方と、地域の魅力を生かして何かをやりたいと考えている地域内の方との交差点になれるような場所を作りたいと考えて、民泊とカフェを選びました。ここを拠点に、収穫体験や郷土料理づくり体験、趣味をベースにしたワークショップ、地域の魅力を素材にしたオンラインマーケティングやオンラインショップ構築のスキルシェアイベントなど、いろんな取り組みに挑戦しています。

現在はそこから派生して、地域の方といろいろな新しい事業の発展可能性について話をしています。いくつになっても元気で楽しく過ごすための高齢者の方向けのサロンの開設、地域の食材を生かした飲食事業や、地域オンラインショップの立ち上げ、田舎体験の拠点としての2号店立ち上げなど。自分の感覚や価値を大切にのんびり生活しながら、一緒に地方の魅力を持ち起こして体験の機会を提供する事業づくりや、地域の魅力をもっと多くの人に知ってもらうきっかけを作るようなプロジェクトを手探りながら進めています。



◆ 活用された補助金は？

起業にあたって「岐阜県地域課題解決型起業支援金」を活用しました。他の創業関連補助金の活用も検討しましたが、事業の実施によって地域課題の解決に貢献するという「地域課題解決型起業支援金」の趣旨に惹かれて、最優先で申請書を書いて応募しました。最初は移住する先の地域の状況など全くわからない状態だったため、空き家バンクで物件の紹介をいただいた市役所の担当の方にお話し、地域のいろんな方にご紹介をいただいて地域の課題や事業プランの話をさせていただく機会をいただきました。そのプロセスの中で、ぼんやりしていた事業内容が、どんどん明確化していったように思います。自分の事業をやるのが地域にとってどんな意味があるのか、この補助金の応募にチャレンジする中で、そこを経営者として考える機会を与えていただけたことに感謝しています。

◆ 移住・起業を検討されている方々へのアドバイス

すごく不思議なんですけど、東京で仕事をしていた7年間よりも、下呂市に移住してからの数か月で、より多くの友達ができました。東京の時は、仕事上の肩書で見られることや、仕事上の繋がりで人脈ができていくことが多かったのですが、今は自分の思いや生き方の選択から、一緒に話をしたり繋がれる友達がすごく増えました。個人的には、それだけでも移住してよかったと感じています。新しい土地に入って起業することは本当に大変だと思いますが、私の場合は「地域課題解決型起業支援金」への応募を目指して、移住前から地域の人と対話を重ね、事業をブラッシュアップしていくプロセスそのものが、地域と共に生きる人生や事業のあり方を模索するプロセスだったと、いま振り返ると感じています。こうした移住者の思いに寄り添う支援の仕組みをいい意味で利用して、地域の人と腹を割って話してみることが私にとっては本当に重要だったと感じているので、移住や起業に向けた第一歩としてお勧めしたいと思います。